

井の頭恩賜公園花便り

ボタンクサギ(クマツヅラ科)



梅雨時から夏にかけてピンク色の小花がボール状にまとまって咲きます。半球状をボタンに見立て、葉に臭気があることから「ボタンクサギ・牡丹臭木」と命名されました。中国南部原産の落葉性の低木で、草丈1~2mで地下茎で広がります。花言葉は「輝く美しさ」「運命」です。

ヤブミョウガ(ツユクサ科)



夏から秋にかけて直径6mm位の小さな白い花が茎の上部から段々に咲きます。花は一日しか持たない「一日花」で順次咲き、1ヵ月ほど続きます。草丈1m位で地下茎で増え、群生します。「ミョウガ」の葉と似ていることから「ヤブミョウガ」と名前が付けました。花が終わると直径5ミリ程度の球状の実をつけ、熟すと濃い青紫色になります。



*『花便り』に関するご質問等は井の頭恩賜公園案内所TEL0422(47)6900までご連絡ください。